明るく健康な生徒　正しい判断力をもち主体的に学び行動する生徒　豊かな情操をもち品位ある生徒

石神井中だより

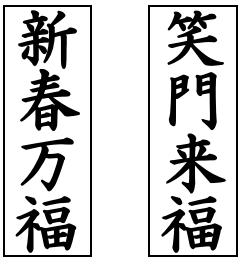
練馬区立石神井中学校
校長　櫻井　弘
令和３年１月１３日
第９号

希望の年となるように

櫻井　弘

皆さん　あけましておめでとうございます。令和３年が静かにスタートしました。新型コロナウイルスは変わらず猛威を振るっていて、高校の集団感染、緊急事態宣言の発出、ワクチン接種の時期など、今後も流言飛語に惑わされず確かな情報を集め、適切に対応していかなければなりません。

今年の干支は丑です。丑年や縁起のよい四字熟語について調べてみました。丑は古くから農作業や物を運ぶときの労働力として人間の生活に欠かせない動物で、勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物ということでした。また、十二支の動物の中で最も動きが緩慢で歩みの遅い丑の年は、「先を急がず一歩一歩着実に物事を進めること」が大切な年と言われているとのことでした。四字熟語では笑門来福（しょうもんらいふく）、いわゆる「笑う門には福来る」という意味を表している四字熟語です。お正月の遊びとして古くから伝わっている「福笑い」が由来となっているとのことです。また、新春万福は（しんしゅんばんぷく）、こちらは「新しい歳に数え切れない幸せがありますように」という願いが込められた四字熟語とのことでした。今年も皆さんの笑顔をたくさん見ることができる年であり、希望に向かって進む年であってほしいと願います。



さて、３学期は１年間のまとめの学期であると同時に、４月からの生活のための０（ゼロ）学期、つまり４月から飛躍するための準備をする学期と言われます。そのためには、少し先の４月に「どういう自分でありたいのか」「どんなふうになっていたいのか」のイメージをもっていなければなりません。そして、そのイメージを現実のものとするために、「今、何をするのか」を考え実行することが必要です。皆さんの中学校生活はいつもの年の生活とは違っています。コロナ禍の制限により予定していた・準備していたけれども、中止になった・体験できていないなどのことがあります。しかし、体験できていなくとも時は戻りませんので、そういう中で自分はどうするか、何をすればいいかを考え行動していくことで、新たな経験を積み重ねていってください。取組一つ一つの意味を考え、そこから学んでいきましょう。

３学期以降のことについてお知らせをします。（以下は予定であり、今後の状況によりさらに変更があるかもしれません。）

①行事関係・各学年の校外学習については、バスや電車などの公共交通機関を使用しての実施はできなくなりました。
・練馬文化センターでの合唱コンクールは、中止となります。
・卒業式は、昨年度同様に規模を縮小しての実施となります。参加者は、卒業生、卒業生保護者、教職員の予定です。
・学校公開は、１月の公開についてはお伝えしているように、土曜授業はありますが公開は中止となっています。２月以降は状況により判断し別途お知らせします。

②防寒対策　今年度末までの特例で、黒タイツを許可します。ルールを守って着用してください。（詳しくは、学年朝礼等で説明がありプリントが配布されます。）

③部活動　感染の拡大防止のために、練馬区全校で１月６日から当面の間（緊急事態宣言解除まで）、すべての部活動が中止となりました。

まだまだ厳しい状況は続きますが、充実した中学校生活のために、知恵を出し合ってよりよい解決の方法を見つけていければと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。